◯2001若林経子＋大賀弓子／オールド・ノリタケ名品集

Van PATTEN, Joan F.: NIPPON Porcelain. Collector’s Book 1-6

INCC “INCC Jounal

1992WOJCIECHOWSKI, Kathy: Wonderful World of Nippon Porcelain, Sciffer Publishing Ltd.

◯技法（Techniques）

盛り上げ: MORIAGE　一陳盛り上げ

金盛り: GOLD IMPASTE

モールド: MOLD　石膏型にレリーフを施し造形する技法

タピストリー：　TAPESTRY　布目仕上げ、つづれ織り

ビーディング: BEADING　金点盛り　＊アクアビーディング

　　　　＊エナメル盛り（ジュール）

エッチング：ETCHING　腐（くさ）らし　ゴールドエッチング（金腐らし）

ウエッジウッド風技法：WEDGWOOD

コバルト：　COBALT

テーブルウエア： TABLEWARE

◯意匠（Design）　ファンシーウエア（花瓶、飾り皿）、テーブルウエア

ポートレイト: PORTRAITS

インディアン: INDIANS

花： FLOWER

バラ: ROSE　\* バラの花は最も多く描かれた

鳥: BIRD

動物： ANIMAL

くだもの： FRUIT

風景: LANDSCAPE

ジャポニズム：　JAPONISME

シノワズリー: CHINOISERIE

オランダ： HOLLAND

ギリシャ： GREECE

エジプシャン：EGYPTIAN

メルヘン: MÄRCHEN

珍しいもの： CURIOSITY

アール・デコ： ART DECO

若林経子／技法について

1. 盛り上げ
2. 一陳盛り上げ　久隅守景の雅号「一陳齋」
3. 金盛り
4. 金点盛り（ビーディング）、アクアビーディング
5. エナメル盛り（ジュール）
6. ウエッジウッド風技法
7. エッチング（腐らし）、ゴールドエッチング（金腐らし）
8. タピストリー（布目仕上げ、つづれ織）
9. モールド（石膏型にレリーフを施し造形する技法）

若林経子／絵付けについて

1. ハンドペインティング（手描き）
2. 転写絵付け
3. ポートレイト（肖像画）と転写紙
4. ダミ　地色を全面に塗りつぶす　金ダミ、呉須ダミ
5. ぼかし（暈し）
6. マーブル（大理石風）
7. コバルト（瑠璃色）
8. 漆蒔き（うるしまき）
9. 金液（水金）について
10. ラスター彩　金属、貴金属を王水で溶解し、硫化バルサムを化合させ、樹脂酸金属化合物を生成し、ロジン（松脂）を添加した液で絵付けする技法　アールデコに多い

◯一陳（いっちん）盛り上げ

盛り上げを描く道具を一陳というが、この名称の由来は、この道具を考案した江戸時代の久隅守景の雅号「一陳齋」からきている、と云われている。元来、京友禅や加賀友禅の染糊線を描く道具であるが、その中に白や淡い色の盛り絵具（粘土を水で整えた泥漿）を、この一陳に入れ、指で圧して、押し出したり、線、面、点などで装飾していく方法である。一陳の大部分は柿渋を引いた紙で、口の部分は真鍮で出来ている。デコレーションケーキを飾る時に使うものを思い起こさせる。現在でも、瀬戸、多治見方面では使われているが、スポイト式になっている。